

kitchenhouse

# 目次

- 安全上のご注意 必ずお守りください ..... 2
- 各部のなまえ ..... 6
- 最大積載量について ..... 7

使い方	ワークトップ.....	8
	シンク.....	9
	排水口.....	10
	キャビネット.....	11
	棚板.....	16
	感震ドアロック.....	17

お手入れ	お手入れのポイント.....	18
	ワークトップ.....	19
	シンク.....	21
	水栓金具.....	22
	排水口.....	22
	キャビネット扉.....	23
	キャビネット庫内.....	24
	不燃ウォールパネル.....	24

取り付け 取り外し 調整方法	扉.....	25
	感震ドアロック受座.....	27
	取っ手.....	27
	引出し.....	27

アクセサリ	.....	29
ダイニングテーブル	.....	30

この度は、弊社のシステムキッチンをご購入いただき誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」には、システムキッチンをいつまでも快適にご使用いただくために、心掛けていただきたい事項と、危険を回避していただくために、必ずお守りいただきたい事項が記載されています。ご使用になる前に、よくお読みいただき、内容を充分にご理解いただいたうえで、正しく安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

**この「システムキッチン取扱説明書」「機器取扱説明書」「保証書」などの大切な書類は、いつでもご覧いただける場所に保管しておいてください。**

- ・本書を紛失した場合や、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・保証書は「お引き渡し日・販売店名」などが記入されていることを必ずお確かめください。
- ・転居される場合は、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎをされる方にお渡しください。

ホルムアルデヒドについて  
TJMデザインでは、お客様が安心してお使いいただけるように「ホルムアルデヒド放散量の少ない材料」を採用しています。

品名	: システムキッチン
製造会社名	: 株式会社 TJMデザイン
ホルムアルデヒド発散区分	: 内装仕上げ部分および下地部分ともにF☆☆☆☆

## ● 警告表示の見方

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、気を付けていただく「注意」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

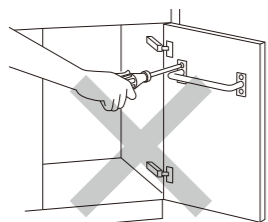
## 安全上のご注意

必ずお守りください



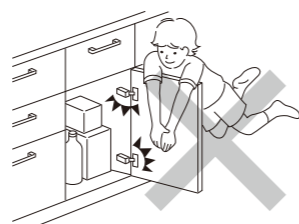
### 分解・改造はしない。

破損して怪我をする恐れがあります。



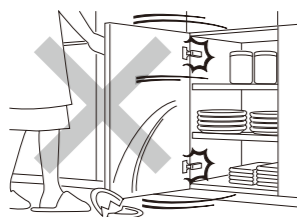
### 引出し・棚・扉・取っ手にぶら下がらない。 引出しに腰掛けない、乗らない。

破損して怪我をする恐れがあります。



### 扉・引出しを大きく開けすぎない。勢いを つけて開けない。

ヒンジ・レールが変形して、扉が落下・破損し怪我をする恐れがあります。



### 扉や引出しを開けたままにしない。

角に頭や顔をぶつけ怪我をする恐れがあります。特にお子様にご注意ください。



### 包丁差しは取り外さない。

一度外すとネジが弱くなり、落下し怪我をする恐れがあります。

### 扉・引出しに傾きがあるときはそのまま 使用しない。(P26・28参照)

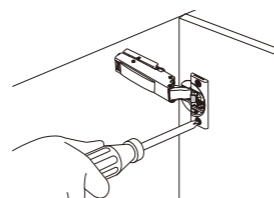
扉・引出しの調整をしてください。扉同士がすれて、落下・破損し怪我をする恐れがあります。調整した後は、必ず開閉して異常がないことを確認してください。

### 最大積載荷重を守る。(P7参照)

破損して、怪我をする恐れがあります。

### 扉・引出し・取っ手にがたつきがあるときはそのまま使用しない。(P25・27参照)

取付ネジを締め直してください。または、お買い上げの販売店に連絡してください。落下・破損し、怪我をする恐れがあります。調整した後は、必ず開閉して異常がないことを確認してください。



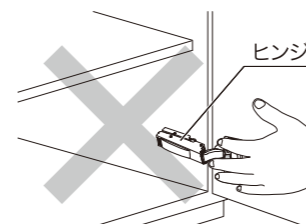
## 安全上のご注意

必ずお守りください



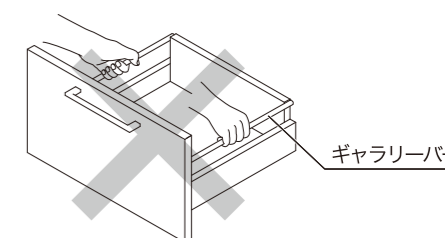
### ヒンジ周辺にふれない。

指をはさんで怪我をする恐れがあります。特にお子様にご注意ください。



### 引出しの取り外し、取り付け時ギャラリー バーをもっておこなわない。

ギャラリーバーが外れて、落下・破損し怪我をする恐れがあります。

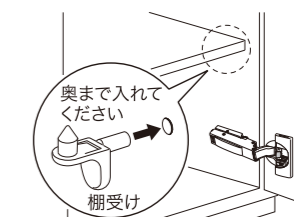


### 扉や引出しを開閉する際は必ず、取っ手 をもっておこなう。

指をはさんで怪我をする恐れがあります。特にお子様にご注意ください。

### 棚板の取り外し、取り付け時は棚受けに 確実に差し込む。

棚板、収納物が落下し怪我をする恐れがあります。

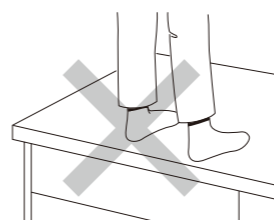


### ワークトップに強い衝撃を与えない。

破損して、怪我をする恐れがあります。

### ワークトップ及び、テーブルの上に乗らない。

破損して、怪我をする恐れがあります。また、落ちて怪我をする恐れがあります。



### ワークトップのコーナー部分に注意。

角に頭をぶつけて、怪我をする恐れがありますので、充分注意してください。



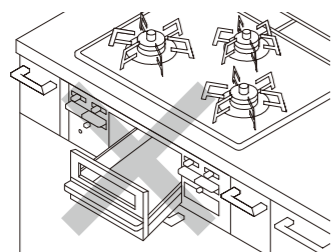
## 安全上のご注意

必ずお守りください

### 警告

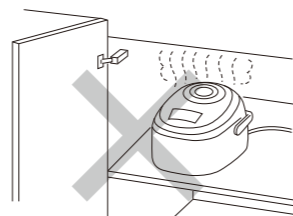
#### ⊘ グリル扉を開けたままグリルを使用しない。

調理機器のグリルを使用する際、火をつけたままの開閉やご使用直後の長期開放は、機器の熱によりワークトップが変形、破損する恐れがありますので、絶対におやめください。



#### ⊘ キャビネット内で電気機器を使用しない。

ビルトイン用に設計された電子レンジや炊飯器を専用の収納庫内で使用する場合を除き、市販の単独置きタイプの加熱調理機器をキャビネット内で使用することはできません。発生する蒸気や放熱スペースの不足が異常加熱につながり、キャビネットの破損ならびに機器の故障、漏電、火災の原因となります。必ず取り出して使用してください。



#### ⊘ 引出しに収納する際は、ガス管・給排水管に収納物を接触させない。

ガス管が破損し、ガス漏れの恐れがあります。給排水管が破損し、水漏れの恐れがあります。

#### ⊘ 調理機器の使用中は調理機器および調理機器周辺にはふれない。

高温になっているので、やけどをする恐れがあります。ガラススクリーンも高温に加熱されます。熱いうちに触れたり、水をかけたりしないでください。ガラスが割れて怪我をする恐れがあります。

#### ⊘ 調理機器の使用中はウォールキャビネットの扉を開閉しない。

調理機器より、衣類に発火し重大な事故になる恐れがあります。また、湯気によりやけどをする恐れがあります。

#### ⚠ 調理機器・食器洗い乾燥機・レンジフード等の周辺機器はそれぞれの取扱説明書に従い使用する。

使い方を誤ると、事故の原因となることがあります。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

### 注意

#### ⊘ 熱湯や熱した油をシンク、排水口に流さない。

排水部の部品が熱により変形し、つまりや破損、水漏れの恐れがあります。



#### ⊘ 排水口に塩素系ヌメリ取剤を使用しない。

水や湿気に反応して発生する塩素ガスが、ステンレス等の金属の腐食やゴムの劣化の原因になります。



#### ⚠ 漂白剤を使用した場合は水で洗い流し、薬品を残さない。

金属の腐食の原因となります。

※ その他の洗浄剤、漂白剤、殺虫剤、防腐剤等の薬品を使用する際は容器等に記載の注意事項に従いご使用ください。

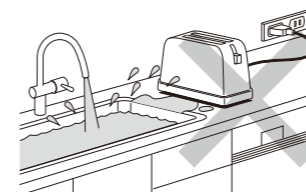
#### ⚠ 月1回は点検を行う。

点検方法はP18のお手入れ方法を参考にしてください。

### 警告

#### ⊘ シンクの近くに家電は置かない。

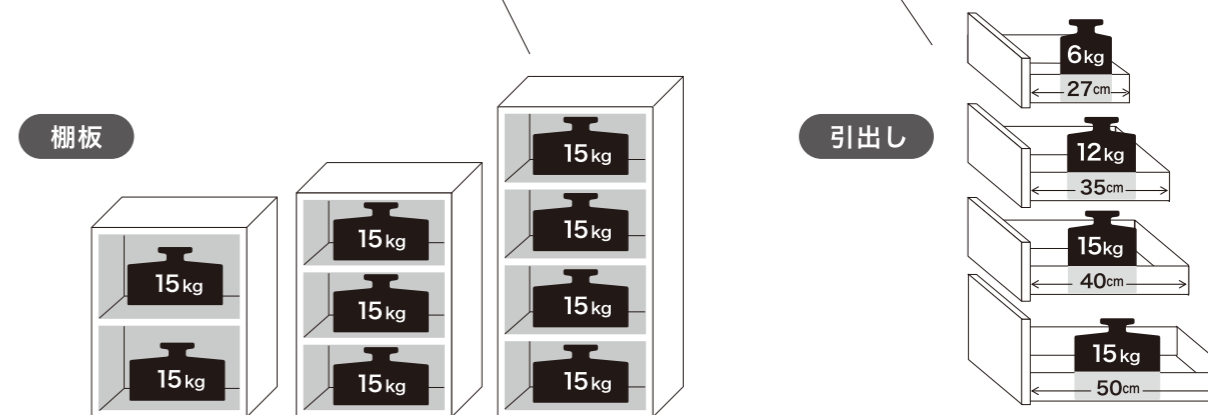
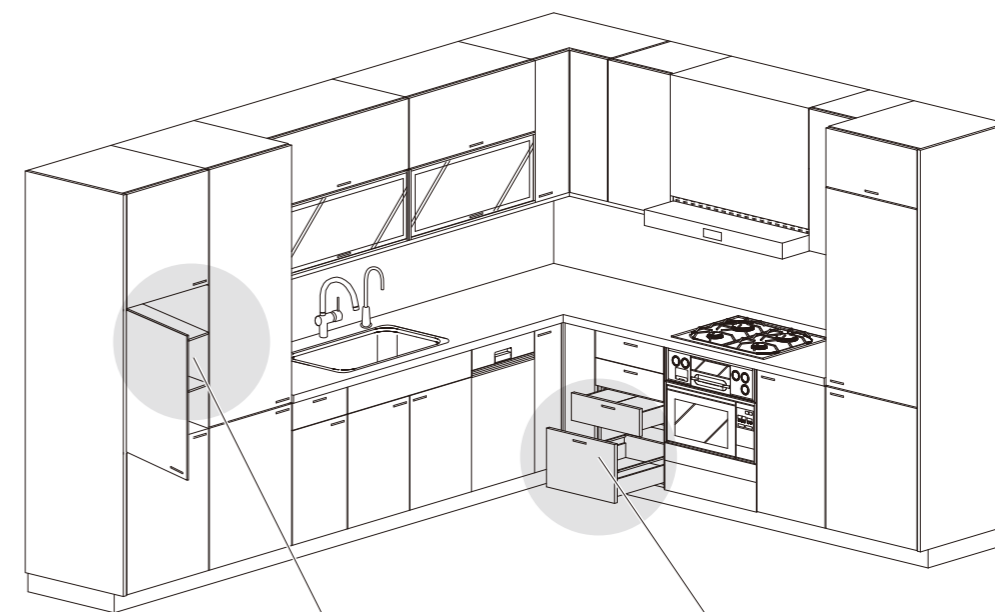
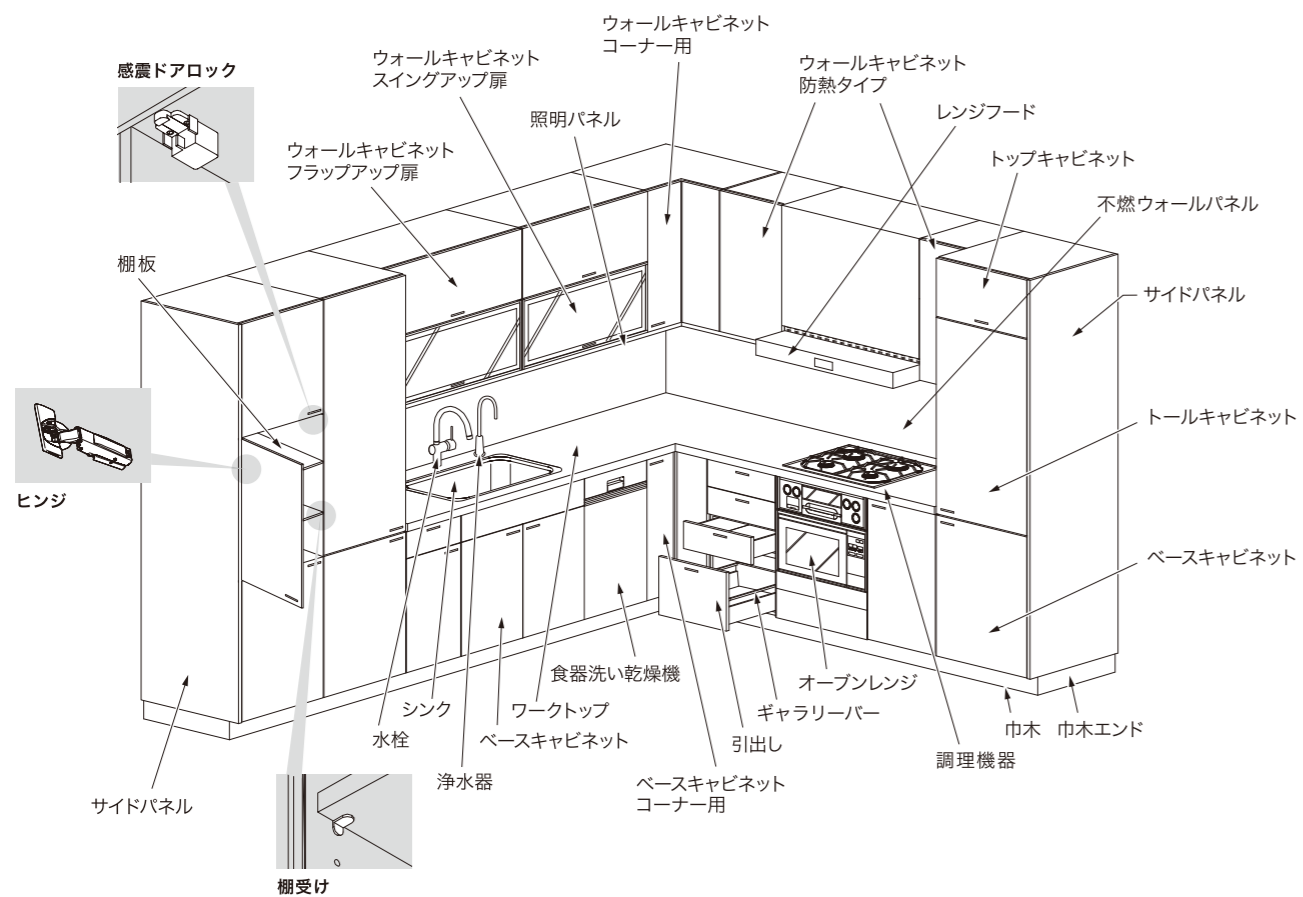
水がかかり感電や漏電する危険があります。



## 各部のなまえ

## 最大積載量について

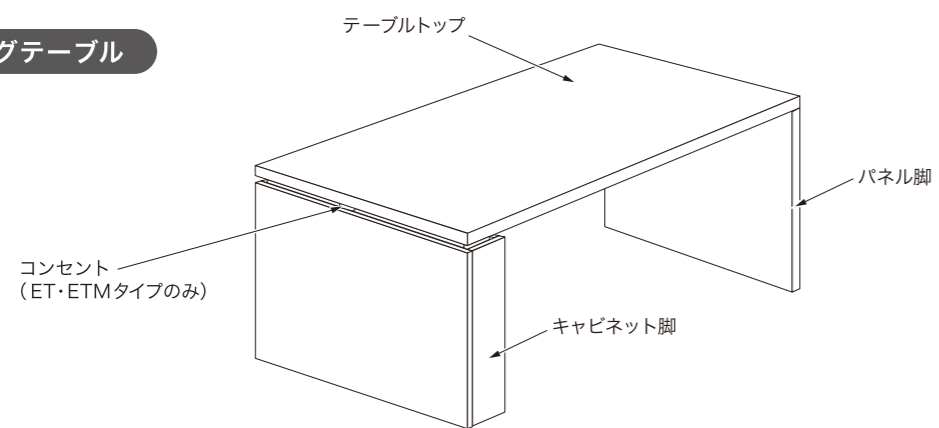
### システムキッチン



棚板1枚につき最大15kg。底板部最大15kg。

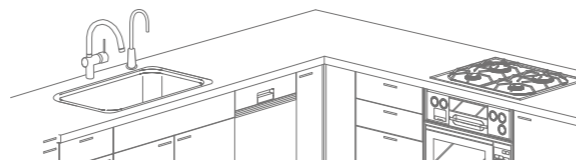
※引出しの奥行寸法によって耐荷重が変わります。

### ダイニングテーブル



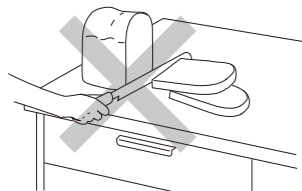
イラストは、ETタイプです

## 使い方 | ワークトップ



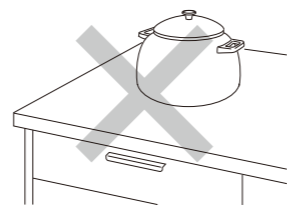
### ⚠️ 注意

- ❌ まな板がわりに使用しないでください。  
商品の傷・表面のはがれの原因となります。



- ❌ 調理直後の熱いフライパンや鍋を直接ま  
たは、ぬれたタオル等の上に置かないで  
ください。

ひび割れ・変色・変形の原因となります。直接置く  
ときは冷めていることを確認してからにしてください。



- ❌ 強い衝撃を与えないでください。  
包丁などの鋭利なものをあてたり、鍋など重いも  
のを落としたりすると、破損し怪我をする恐れがあ  
ります。

### ステンレスワークトップ

- ❌ 醤油・マヨネーズなどの塩分の強い食品  
や、油を放置しないでください。

腐食の原因になります。

- ❌ 洗剤・漂白剤・殺虫剤・防腐剤等の薬  
品を使用する際は容器等に記載の注意事  
項に従いご使用ください。

使用方法を誤ると、変色・変形・劣化の原因とな  
ります。

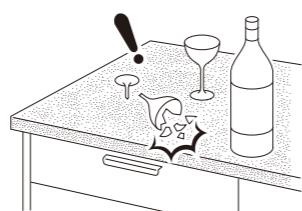
- ❌ 空き缶・ヘアピンなどの鉄製品を放置し  
ないでください。

腐食の原因になります。

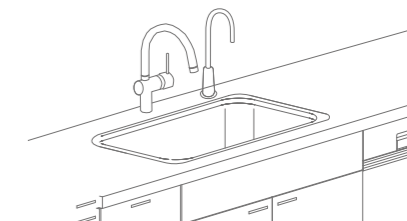
### 天然石ワークトップ

- ⚠️ ガラスや陶器を倒したり、落としたりし  
ないように注意してください。

天然石は非常に硬い素材ですので、ガラスのコッ  
プを落としたりすると、簡単に破損することがあ  
ります。ガラスや陶器などを置く場合は、マットな  
などを敷いて取り扱いに注意してください。



## 使い方 | シンク



### ⚠️ 注意

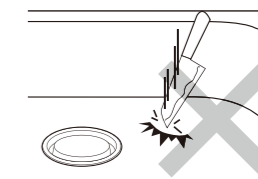
- ❌ シンクに熱いフライパンや鍋を置かない  
でください。

熱くなったフライパンや鍋をシンクに直接置く  
と、シンクが変形・変色・破損の恐れがあります。



- ⚠️ シンクに包丁など鋭利なものを落とさな  
いよう注意してください。

包丁など鋭利なものをシンクに落とすと表面に傷  
がつくことがあります。



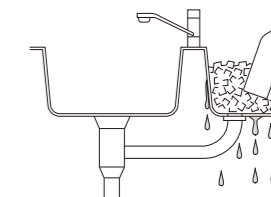
- ❌ 水を溜める場合シンクから離れないでく  
ださい。

排水口に蓋をして水を溜める場合には、水があふれ  
ることのないように、シンクのそばから離れないよ  
うにしてください。



- ❌ シンクボウルを冷やさないでください。

シンクボウルに直接氷を入れて放置しますと、シン  
ク下が結露し、カビや雑菌の繁殖原因になります  
ので注意してください。



### ステンレスシンク

- ❌ 醤油・マヨネーズなどの塩分の強い食品や、  
油を放置しないでください。

腐食の原因になります。

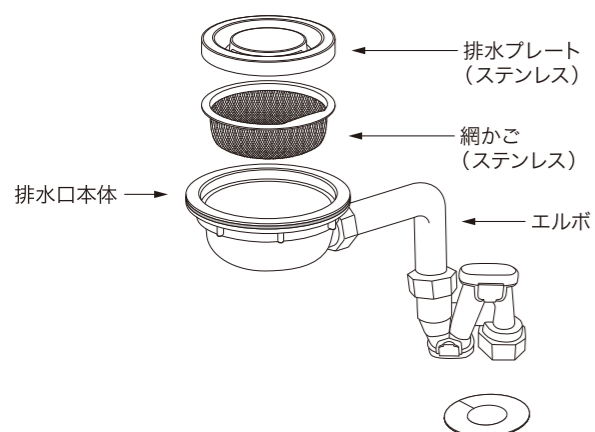
- ❌ 洗剤・漂白剤・殺虫剤・防腐剤等の薬  
品を使用する際は容器等に記載の注意事  
項に従いご使用ください。

使用方法を誤ると、変色・変形・劣化の原因とな  
ります。

- ❌ 空き缶・ヘアピンなどの鉄製品を放置し  
ないでください。

腐食の原因になります。

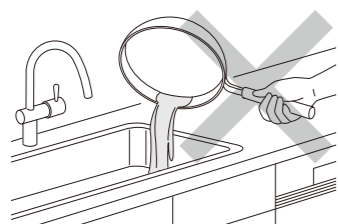
## 使い方 | 排水口



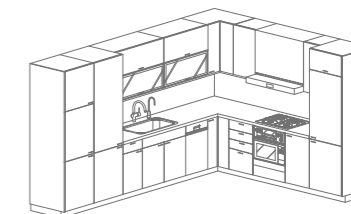
### ⚠️ 注意

- ❌ 熱い油や沸騰した熱湯などを流さないでください。

直接排水しますと、ゴム製部品や樹脂製部品を傷めますのでおやめください。また、環境汚染の原因ともなりますので、油は絶対に流さないでください。

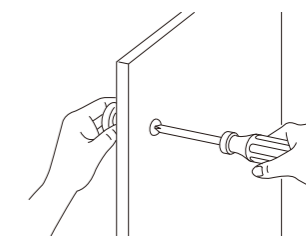
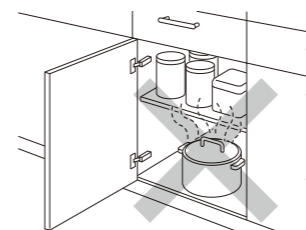


## 使い方 | キャビネット

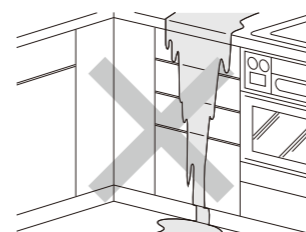


### ⚠️ 注意

- ❌ テープやシールを貼らないでください。  
表面がはがれたり、痕が残ったりすることがあります。また、よごれの付着原因にもなります。
- ❗ 取っ手をもって開閉してください。  
指を挟んで怪我をする恐れがあります。
- ❌ 調理直後の熱いフライパンや鍋を直接置かないでください。  
ひび割れ・変色・変形の原因となります。直接置くときは冷めていることを確認してからにしてください。
- ❗ 取っ手ががたつくときはネジを締め直してください。(P27参照)  
がたつきがひどいときはお買い上げの販売店にご連絡ください。



- ❌ 濡れたまま放置しないでください。  
扉やキャビネットが吸水し表面のはがれ・膨れ・シミ・変色の原因になります。
- ❌ 水を床にこぼしたまま放置しないでください。  
キャビネット・パネルの底面から吸水し、表面のはがれ・膨れ・シミ・変色の原因になります。水拭きやワックスがけの際も十分ご注意ください。



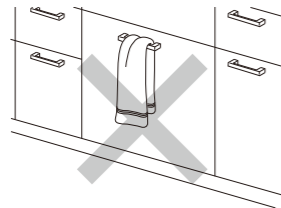
## ⚠️ 注意

- ❗ 引出しやキャビネット内に水をこぼしたときは速やかに拭き取り、よく乾燥させて異常のないことを確認してから使用してください。

表面のはがれ・膨れ・変色・カビの原因になります。

- ⊘ 取っ手に濡れたタオルやレードルなどをかけないでください。

扉やキャビネットの表面のはがれ・膨れ・シミ・変色の原因になります。

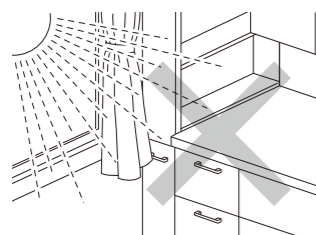


- ⊘ 強い衝撃を与えない。

包丁などの鋭利なものをあてたり、フライパンなど重いものを落としたりすると、破損し怪我をする恐れがあります。

- ⊘ 直射日光は避けてください。

直射日光に含まれる紫外線は扉の変色の原因となります。特に塗装扉は注意が必要です。UVカットのカーテンを付ける、ガラス窓を紫外線吸収ガラスにする、紫外線吸収フィルムを貼るなどの対策を講じて、紫外線を遮断してください。

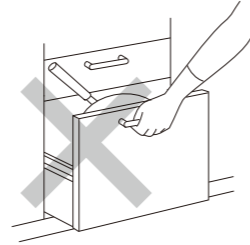


- ❗ 収納物は最大積載量をまもり、偏りなく収納してください。

入れすぎたり偏って入れると、キャビネットが破損したり引出しが傾くことがあります。

- ⊘ 物が挟まったまま無理に扉および引出しを閉めないでください。

扉やヒンジ・レールが変形・破損する原因になります。



- ❗ 扉や引出しを開閉するときは、扉や引出し同士が擦れないよう注意してください。

傷や破損の原因になります。

- ❗ キャビネット内に塩素系の薬品、洗剤類を保管する場合は、注意してください。

塩素ガスが発生すると、ヒンジやレールにさび・腐食が発生し動作不良の原因となります。

- ⊘ シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。

変色の原因になります。

## ⚠️ 注意

### ベースキャビネット

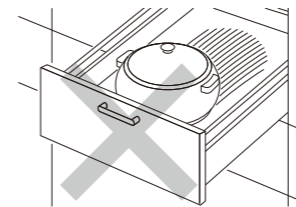
- ❗ 引出しの開閉には注意してください。

扉や引出しの開閉時に、手や指を挟んだりしないように注意してください。そばにお子様や他の方がいる場合には、思わぬ事故につながります。



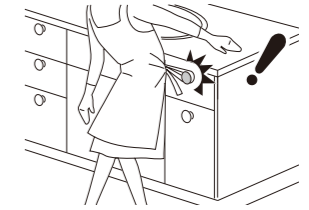
- ⊘ お鍋などは引きずらないでください。

お鍋を取り出すときは、引出しの底板面を傷つけないよう注意してください。特に土鍋などの底には糸尻などがあるので注意してください。また、鍋底が汚れていると、底板まで汚してしまうため、きれいに洗ってから収納してください。



- ❗ 取っ手に衣類を引っ掛けないよう注意してください。

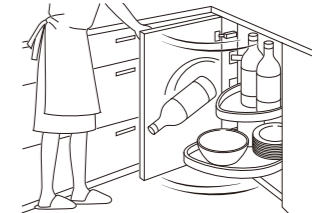
特にツマミタイプの取っ手は、衣服が引っ掛かって破れたり、取っ手が取れたりする場合があります。転倒してケガをすることのないよう充分注意してください。



### 回転扉付き・回転棚付きコーナーキャビネット

- ⊘ トレーはゆっくり回転させてください。

トレーを勢いよく回転させますと、指などを挟んだり内部の収納物が落下して故障の原因となります。



### ブルアウトコーナーキャビネット

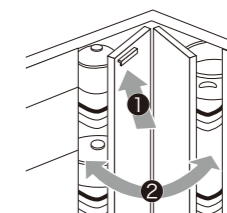
- ❗ 扉は静かに開閉してください。

勢いよく扉の開閉をしますと、中の収納物が落下する恐れがあります。



### 全回転ラック付きコーナー用キャビネット

全回転ラックの付いたコーナーキャビネットは、取っ手を握って扉をゆっくりと押しながら、左右どちらかに回転させてご使用ください。



- ⊘ 扉を無理に引っ張らないでください。

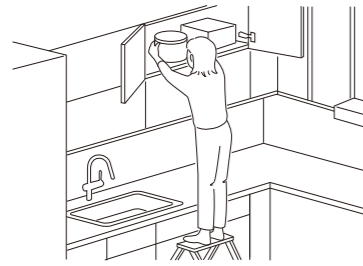
破損する恐れがあります。



⚠ 注意

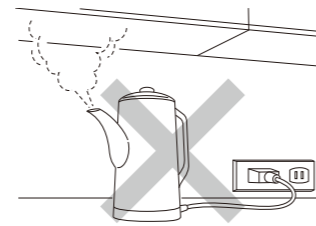
ウォールキャビネット

⊘ 無理な出し入れはしないでください。  
高所の収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。



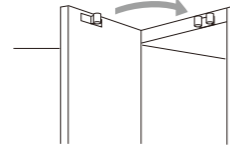
⊘ キャビネットに長期間、蒸気を当てたままにしないでください。

キャビネット・パネルから吸水し、表面のはがれ・膨れ・シミ・変色・変形の原因になります。



ウォールコーナーキャビネット

折れ戸式のコーナーキャビネットの扉は、「キャッチ」と呼ばれる受け金具により扉が収まります。閉じる場合には、扉をしっかり押し込んで閉まっていることを確認してください。



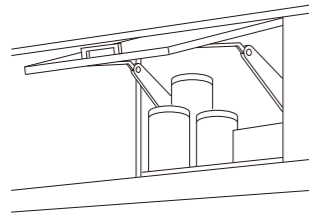
⊘ 回転ラックを使用する場合は、無理な収納は避け、勢いよく回さないでください。

収納物が落下する恐れがあります。

トップキャビネット

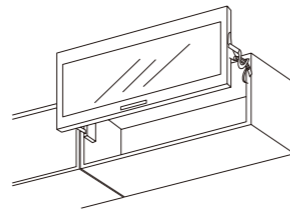
フラップアップ式の扉の開閉方式

吊戸のフラップアップ扉の場合は、フリーストップタイプです。扉を押し上げるとその場に静止します。好みの開き角度で使用してください。



スイングアップ式の扉の開閉方式

吊戸のスイングアップ扉は、軽い力で上下開閉ができます。扉を引き上げた位置で静止しますので、開けたままでの使用も可能です。



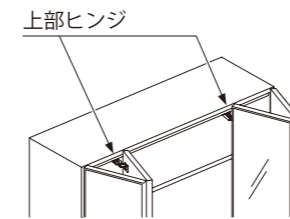
⚠ 注意

トールキャビネット

フォールディングドア付キャビネット

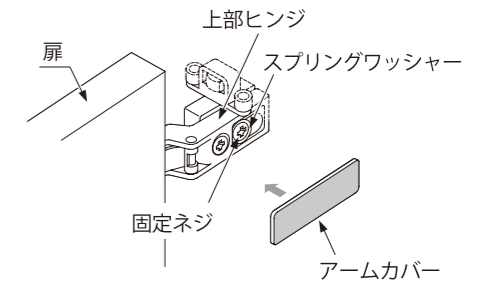
! 長い間使用すると上部ヒンジの固定ネジがゆるみます。

扉は取付け時に調整を行っていますが、ガタつきや傾きが生じた場合は、上部ヒンジの固定ネジをプラスドライバーで締め直してください。直らない場合は、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。



⊘ ガタついた状態で使用しないでください。

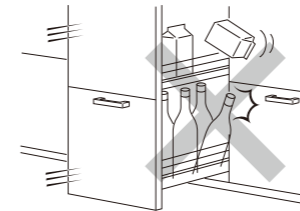
ガタついた状態で使用しつづけると、金物がはずれて頭や顔をぶつけ、怪我をする恐れがありますので、絶対に使用しないでください。アームカバーが取り付けられている場合は、取りはずして固定ネジを締め直してください。



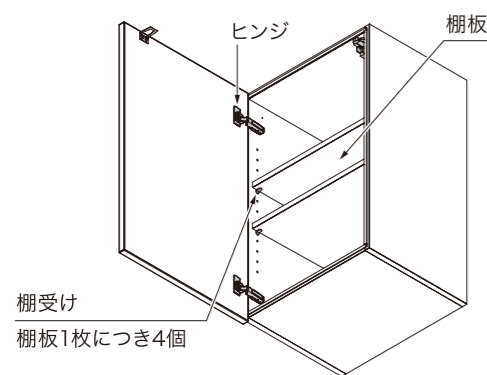
スライド式キャビネット

⊘ 静かに開閉してください。

無理な開閉を繰り返しますとキャビネットの負担になります。



## 使い方 | 棚板

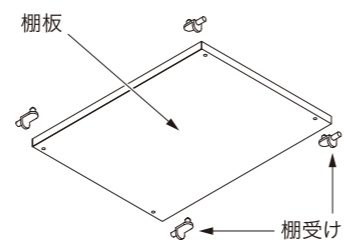


棚板はお好きな位置に移動させることができます。  
棚板を外し棚受けを移動させてください。

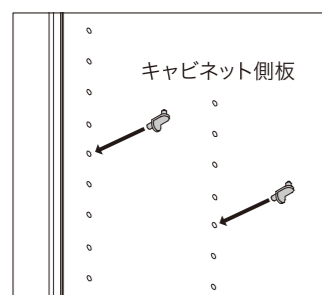
### ⚠ 注意

⚠ 棚板を移動する際は棚受けを側板と棚板の穴にきっちりはめ込んでください。

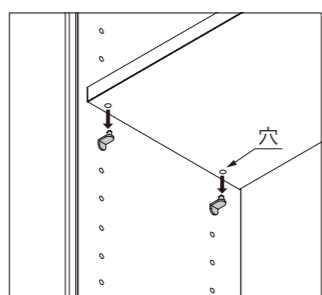
棚板が外れて、怪我をする恐れがあります。



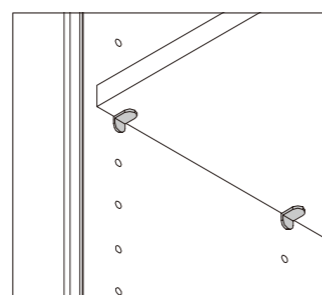
### 棚受けの取付け方



①キャビネット側板のダボ穴に棚受けをしっかりと差し込んでください。



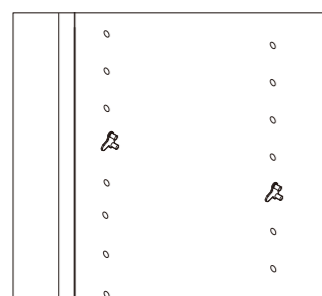
②上方から棚板の穴に棚受けピンを差し込みセットしてください。



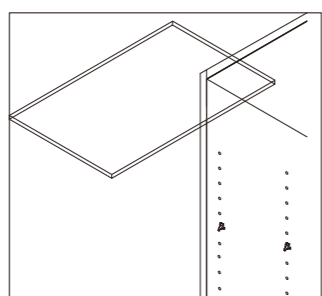
③棚板が確実に固定されていることを確認してください。

### ガラス棚板の取付け方

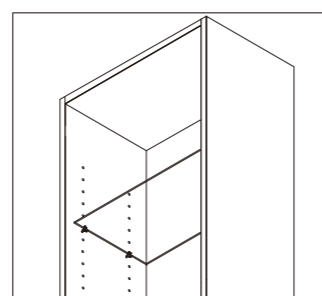
※棚板の位置を変更する場合は扉を外してから行ってください。(扉の取り付け、取り外しはp25参照)



①キャビネット側板のダボ穴に棚受けの金属部分を差し込んでください。

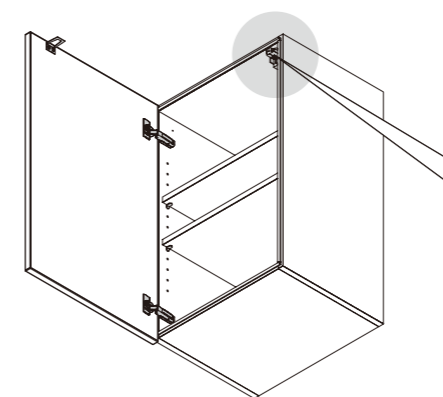


②棚受けの樹脂部分にガラスを挟み込むように手前からガラスをセットしてください。入りにくいときは手で棚板を押さえながらセットしてください。



③棚板が確実に固定されていることを確認してください。

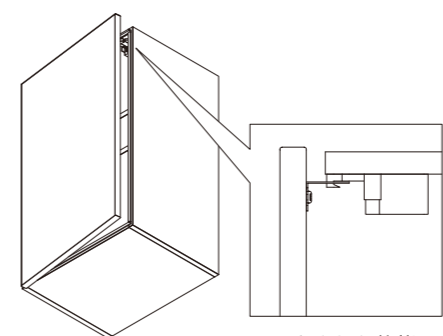
## 使い方 | 感震ドアロック



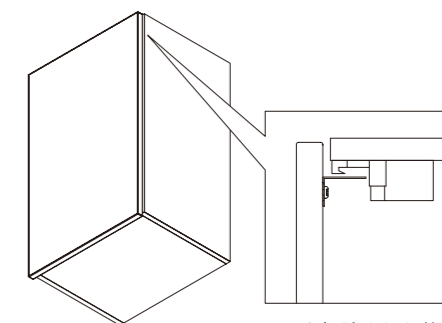
### 感震ドアロックとは

地震の際、扉に自動的にロックがかかり、収納物が飛び出し避難の妨げになったり、お客様が落下物や破損物で怪我をしたりすることのないようにする機構です。

### 感震ロックが機能した場合



ロックされた状態



ロック解除された状態

扉は10mmほど開いた状態でロックされますので、地震がおさまりましたら完全に閉めてください。ロックが解除され、通常の状態に戻ります。

※感震ドアロックは震度4に満たない地震には作動せず、キャビネット内で収納物が倒れた程度の揺れにも感応しません。また、設置場所や使用方法によって性能を十分に発揮しない場合があります。

### ⚠ 注意

⚠ 地震の発生などでロックされた後、扉を開けるときは注意してください。

収納物がこぼれおちて破損し、怪我をする恐れがあります。

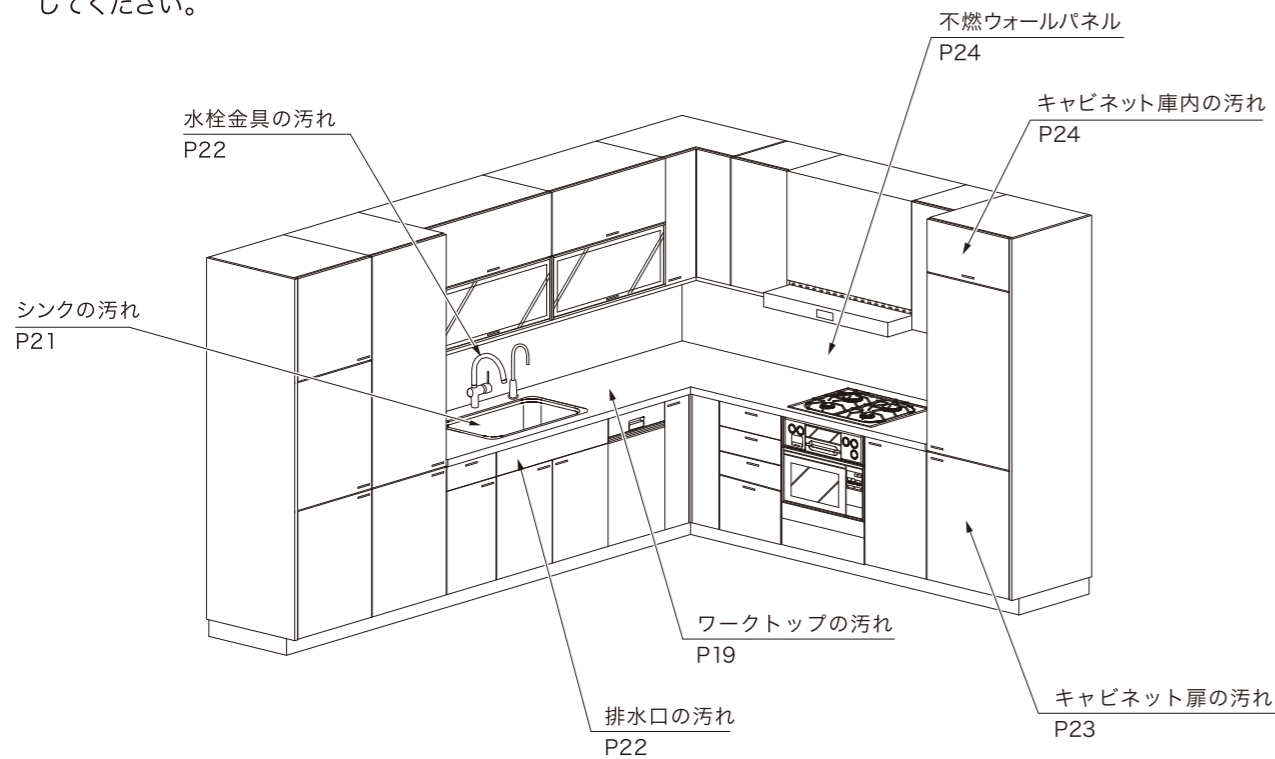
# お手入れのポイント

- 日ごろのお手入れ： ① 柔らかい布で水拭き。  
② 水気を残さないように清潔な布で拭き取りそれでも落ちない汚れは下記図のページを参照してください。

## ⚠ 注意

- ❌ シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。  
変色の原因になります。
- ❌ たわし・スチールウール・金属性たわし・サンドペーパー・金属磨き材などの硬質の掃除用具は使用しないでください。  
商品の傷・表面のはがれの原因となります。
- ❗ 月に1回は水漏れがないか点検を行ってください。  
不具合があった場合はご購入の販売店にご連絡ください。
- ❌ 排水口に塩素系ヌメリ取り剤を使用しないでください。  
水や湿気に反応して発生する塩素ガスがステンレス等の金属の腐食やゴムの劣化の原因となります。

- ❗ 1年に1回は扉・引出しのがたつき・傾きがないか点検を行ってください。(P25・28参照)  
がたつき・傾きがあるときは調整してから使用してください。



※ 機器（調理機器・レンジフード・食器洗い乾燥機）はメーカーの取扱説明書を参照してください。

# お手入れ | ワークトップ

日ごろのお手入れ： 柔らかい布で水拭きをし、水気を残さないように清潔な布で拭き取ってください。

## メラミンワークトップの汚れ

- 落ちにくい汚れ： 薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で拭きあげてください。

## ⚠ 注意

- ❌ シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。  
変色の原因になります。
- ❌ たわし・スチールウール・金属性たわし・サンドペーパー・金属磨き材などの硬質の掃除用具は使用しないでください。  
商品の傷・表面のはがれの原因となります。

## ステンレスワークトップの汚れ

- 落ちにくい汚れ： 薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で拭きあげてください。

※水滴が乾燥すると、水に含まれている炭酸カルシウム、シリカ成分が残り、水垢になります。  
※台所用中性洗剤で落ちない場合は、乳液状のクレンザーを柔らかいスポンジに含ませ汚れを洗い落としてください。  
※クレンザーで磨いた部分の光沢が他と多少異なることがあります。

それでも落ちない場合は、キッチンペーパーを当てて、そこにクエン酸水溶液をしっかりと沁み込ませて15分程度置きメラミンスポンジで擦ってください。ただし、クエン酸は水でしっかり流してください。腐食の原因になります。

## ⚠ 注意

- ❌ シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。  
変色の原因になります。
- ❌ たわし・スチールウール・金属性たわし・サンドペーパー・金属磨き材などの硬質の掃除用具は使用しないでください。  
商品の傷・表面のはがれの原因となります。

### 人造大理石ワークトップの汚れ

**落ちにくい汚れ**：クリーンクレンザーまたはスコッチブライト™スポンジたわし(研磨粒子付)で軽く磨いてください。ホワイト系の色以外はその後水洗いしたスコッチ・ブライト™スポンジたわし(研磨粒子付)で軽く磨いてください。

※艶が変わってしまう可能性があるため、目立たない場所で確認の上行ってください。  
※磨いた部分の光沢が他と多少異なることがあります。

漂白剤も使用できますが、ご使用後は水拭きをしてください。  
※漂白剤のご使用にあたっては漂白剤メーカーの使用方法に従ってください。

水をしっかり含ませたメラミンスポンジもご利用いただけます。

### エンジニアリングストーンワークトップの汚れ

**落ちにくい汚れ**：温水で湿らせた布に漂白剤・研磨剤を含まない少量のクリーナーを含ませて拭き取ってください。

## ⚠注意

❗ **汚れがついたら出来るだけ早く取り除いてください。**

汚れを放置すると取り除きにくくなります。

⊘ **強酸・強アルカリを含む洗剤の原液の使用は避けてください。**

変色の原因になります。

### 天然石ワークトップの汚れ

**落ちにくい汚れ**：薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後乾いた布で拭きあげてください。

## ⚠注意

❗ **油や調味料をこぼした場合は速やかに拭き取ってください。**

時間が経つと汚れが染みつきます。

⊘ **シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤(酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤)・漂白剤は使用しないでください。**

変色の原因になります。

## お手入れ | シンク

**日ごろのお手入れ**：柔らかい布で水拭きをし、水気を残さないように清潔な布で拭き取ってください。

### ステンレスシンクの汚れ

**落ちにくい汚れ**：薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で拭きあげてください。

※水滴が乾燥すると、水に含まれているカルキ(炭酸カルシウム)、シリカ成分が残り、水垢になります。

※台所用中性洗剤で落ちない場合は、乳液状のクレンザーを柔らかいスポンジに含ませ汚れを洗い落としてください。

※クレンザーで磨いた部分の光沢が他と多少異なることがあります。

## ⚠注意

⊘ **シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤(酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤)・漂白剤は使用しないでください。**

変色の原因になります。

⊘ **たわし・スチールウール・金属性たわし・サンドペーパー・金属磨き材などの硬質の掃除用具は使用しないでください。**

商品の傷・表面のはがれの原因となります。

### 人造大理石シンクの汚れ

**落ちにくい汚れ**：クリーンクレンザーまたはスコッチブライト™スポンジたわし(研磨粒子付)で軽く磨いてください。ホワイト系の色以外はその後水洗いしたスコッチ・ブライト™スポンジたわし(研磨粒子付)で軽く磨いてください。

漂白剤も使用できますが、ご使用後は水拭きをしてください。

※漂白剤のご使用にあたっては漂白剤メーカーの使用方法に従ってください。

水をしっかり含ませたメラミンスポンジもご利用いただけます。

## お手入れ | 水栓金具・排水口

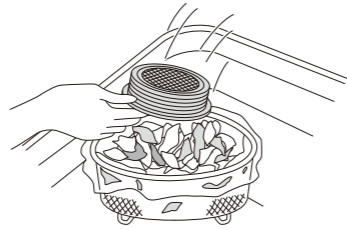
### 水栓金具の汚れ

**日ごろのお手入れ：** 水栓金具を拭き取って水気や水滴を拭き取ってください。

**落ちにくい汚れ：** 薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取ったあと水洗いし、乾いた布で拭きあげてください。

### 排水口の汚れ

**日ごろのお手入れ：** シンクの排水口の中に網かごがついています。排水プレートはずしますと網かごが取りはずせませんので、こまめにゴミを処理し、きれいに掃除してください。ゴミをためておきますと、排水が悪くなるばかりか、悪臭の原因となります。網かごは、台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗ってください。



**排水口が詰まり出したら：** 市販のパイプ洗浄剤を使用してください。

## ⚠️ 注意

❌ **排水口には塩素系ヌメリ取剤を使用しないでください。**

水や湿気に反応して発生する塩素ガスがステンレス等の金属の腐食やゴムの劣化の原因となります。

## お手入れ | 扉

### メラミン扉の汚れ

**日ごろのお手入れ：** 柔らかい布で水拭きをし、水気を残さないように清潔な布で拭き取ってください。

**落ちにくい汚れ：** 薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後乾いた布で拭きあげてください。

## ⚠️ 注意

❌ **シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤(酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤)・漂白剤は使用しないでください。**

変色の原因になります。

❌ **たわし・スチールウール・金属性たわし・サンドペーパー・金属磨き材などの硬質の掃除用具は使用しないでください。**

商品の傷・表面のはがれの原因となります。

### 塗装扉(鏡面・半艶・全艶消し)の汚れ

**日ごろのお手入れ：** 柔らかい布で水拭きをし、水気を残さないように清潔な布で拭き取ってください。

**落ちにくい汚れ：** 薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後乾いた布で拭きあげてください。

**木目に入った汚れ：** 柔らかい歯ブラシに中性洗剤を薄めた液を含ませて軽く擦ってください。汚れがひどい場合は無水アルコールや工業用アルコールを柔らかい布に含ませて、あまり力を入れずに拭き取ってください。

※ただし、アルコールを繰り返し使うと塗膜が侵されて艶が変わってしまう恐れがあるので、注意してください。

アルコールの拭き痕が残る場合は、乾いてから乾拭きもしくは水拭きすると取れます。

※塗膜に傷がついている場合は、浸透して塗膜の下の材を侵す恐れがあるので、アルコールは使わないでください。

❌ **弱アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。**

塗膜を侵したり、変色の原因となります。

### 〈 鏡面塗装仕上げ面の艶の保護と維持 〉

メリヤス等の柔らかい布地を濡らして、キッチンポリッシュ\*あるいはノンシリコン系のワックスを布地に付け、塗り広げてください。

※キッチンポリッシュには、超微粒子研磨剤(コンパウンド)が入っているので布地にわずかに色移りすることがありますが製造上問題ありません。その後キッチンポリッシュ\*あるいはノンシリコン系のワックスが乾いてから、柔らかい布で拭き取ってください。静電気で埃の付着がひどいときも、同じ方法で取れます。

※布地にワックス剤の粉が付着するので、こまめに払いながら拭取ってください。粉が付着したまま、ゴシゴシ擦ると傷付ける恐れがあるので注意してください。

❌ **自動車用ワックスのようなシリコン系ワックス研磨剤が入っているタイプは使用しないでください。**

輝き方がガラガラしてくる恐れがあります。

\*キッチンポリッシュ: 鏡面塗装扉用の艶出し剤を販売しております。詳しくはお買い上げの販売店にお問合せください。

## 取り付け・取り外し・調整方法 | 扉

### ガラス扉の汚れ

**日ごろのお手入れ：** 乾いた布で拭き取ってください。

**落ちにくい汚れ：** 薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後乾いた布で拭きあげてください。スプレー式のクリーナーの場合には布に吹きつけてからガラス面を拭いてください。

## お手入れ | 庫内

### キャビネット庫内の汚れ

**日ごろのお手入れ：** 柔らかい布で水拭きをし、水気を残さないように清潔な布で拭き取ってください。特に食品がこぼれた場合には、速やかに拭き取り湯拭きしてください。

**落ちにくい汚れ：** 薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後乾いた布で拭きあげてください。

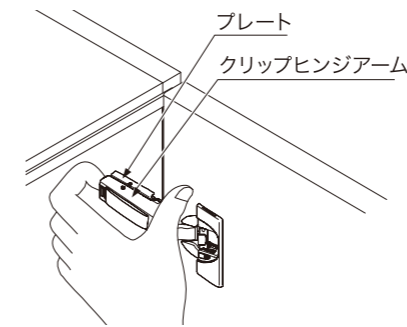
## お手入れ | 不燃ウォールパネル

**日ごろのお手入れ：** 柔らかい布で水拭きをし、水気を残さないように清潔な布で拭き取ってください。

**落ちにくい汚れ：** 薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布で汚れを落とし、固く絞った布で洗剤を拭き取った後乾いた布で拭きあげてください。

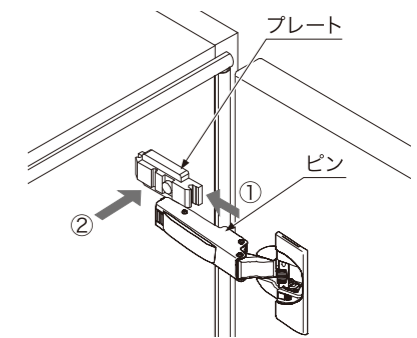
### 扉の取り外し

扉を外す際、扉が落下しないように扉を片手で支えながら作業を行ってください。クリップヒンジアーム先端のフックを持ち上げるとプレートからヒンジが外れ、扉を外すことができます。



### 扉の取り付け

①クリップヒンジアームの手前側のピンをプレートに引っ掛けてください。  
②アームの奥側を「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

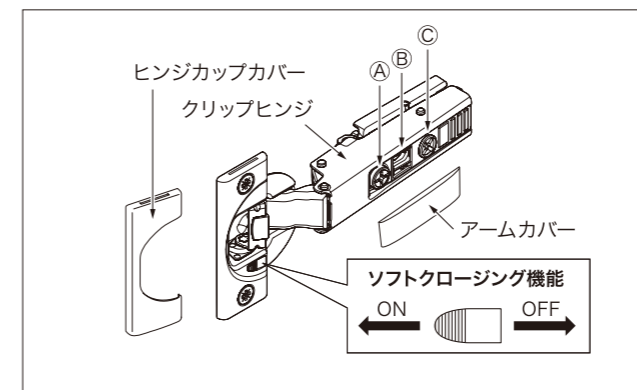


### 扉の調整方法

**扉がたつく場合：** ヒンジ固定ネジ⑧をプラスドライバーで締めてください。

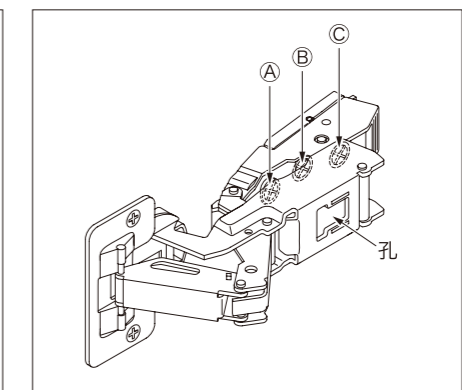
**ソフトクロー징機能：** ヒンジにはソフトクロー징機能が搭載されています。締め具合によって、ON・OFFを切り替えてください。

#### 一般ヒンジ



#### 特殊ヒンジ

L型キッチンコーナーキャビネット用  
※ヒンジカップカバーはありません。

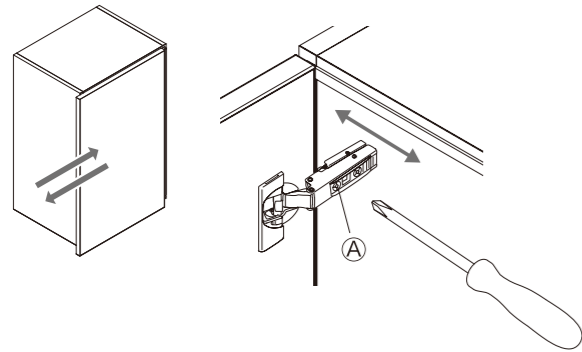


### ⚠ 注意

⊘ **がたついた状態で使用しないでください。**  
がたついた状態で使用しつづけると、金物がはずれて頭や顔をぶつけ、怪我をする恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

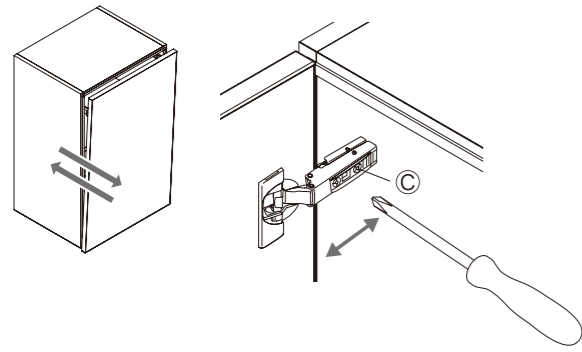
## 取り付け・取り外し・調整方法 | 感震ドアロック受座・取っ手

### 扉が左右に傾いた場合

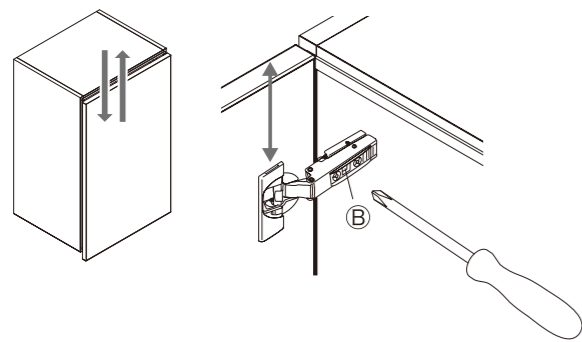


ヒンジのネジ④を時計方向に回すと、扉はヒンジ側とは逆の方向に移動します。

ネジ④を時計と逆方向に回すと、扉はヒンジ側の方向に移動します。



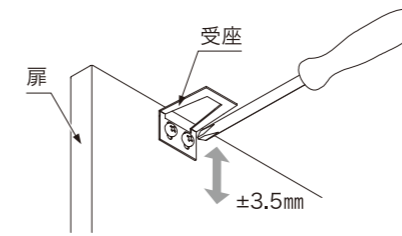
ヒンジのネジ③を時計方向に回すと、扉は奥に引込みます。  
ネジ③を時計と逆方向に回すと、手前に出てくる動作をします。



すべてのヒンジのネジ⑥をゆるめます。この際、扉は自重で上下可動範囲の一番下まで下がってきますので、念のため扉の下端を手で支えながら、作業してください。

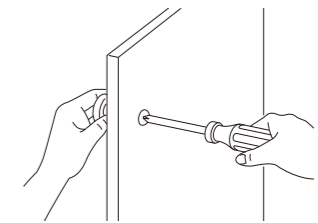
次に扉を持ち上げ、上下可動範囲の中央で扉を押さえ、最上部のヒンジのネジ⑥を固定し様子を見ます。扉を閉めて他の扉との上下関係を確認し、必要に応じて再度調整してください。調整した後、他のヒンジのネジ⑥もすべて固定します。

### 感震ドアロック受座の調節



感震ドアロックと受座があたって扉が閉まらないときは、プラスドライバーでネジをゆるめて受座の高さを調整してください。

### 取っ手



長い間使用すると取っ手がゆるくなる場合があります。ゆるくなったときは、早めに扉の裏面から取っ手が回らないよう手で押さえ、プラスドライバーで締め直してください。強く締め過ぎると、取っ手や扉を傷める原因となります。

## 取り付け・取り外し・調整方法 | 引出し

### スチール製引出し取り外し方法

外す前に、収納物やトレーなどすべて出してください。



- ①引出しをいっぱいまで引出します。
- ②扉部分を2~3cm持ち上げ、ロックを解除します。ロック解除時には「カチッ」と音がします。

※持ち上げる勢いを必要以上に与えると、破損・故障の原因になります。また、ケガをすることもありますので、適度な力で持ち上げてください。

ロックが外れる音がしたら軽く持ち上げて引出しを外します。

※そのまま下ると「カチッ」と音がして引出しがロックされてしまいます。

### スチール製引出し取り付け方法

事前に、キャビネット側面のレールを手前に引き出します。



- ①レールに沿って水平に引出しを置きます。
- ②そのままゆっくりと奥まで差込みます。「カチッ」という音がして引出しをロックします。

再び引出しをいっぱいまで引出してロックされていることを確認した後扉の納まりを確認して完了です。

# アクセサリ

## ⚠ 注意

**⚠ 包丁差しの出し入れには注意してください。**

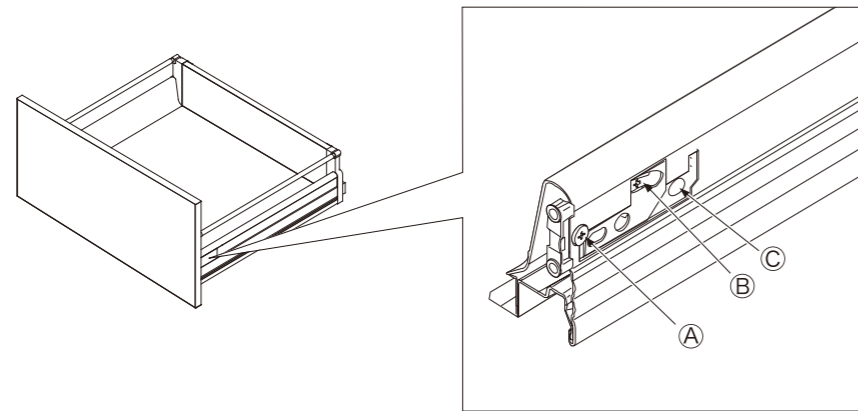
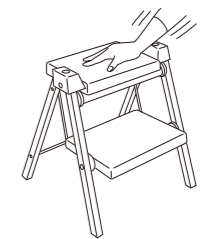
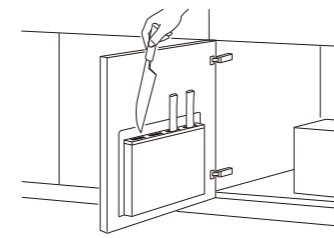
特に小さなお子様が包丁に触れることのないようにしてください。また、包丁の出し入れの際は、扉を傷つけないように注意してください。扉を閉めた時、包丁の柄を挟むと扉に傷がつく恐れがあります。

**! 包丁は十分水気を切ってから収納してください。**

キャビネットの表面のはがれ・シミ・カビの原因になります。

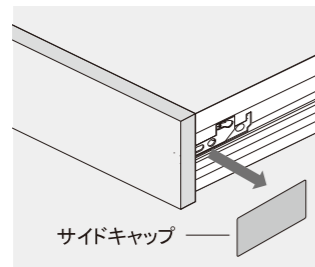
**! 脚立は安定した場所で使用してください。**

安定した場所であること、確実に脚が開いていることを確認してからご使用ください。不安定な状況で使用すると大変危険です。また、キャビネットから出し入れする際は、キャビネットに傷をつけないよう注意してください。



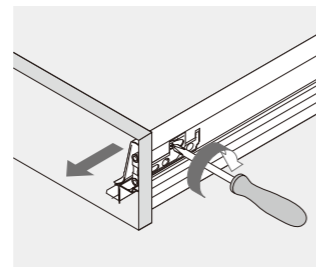
### 引出し前板の外し方

#### 手順1



両サイドのサイドキャップを外してください。

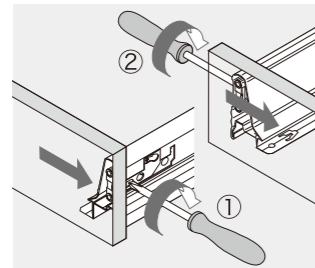
#### 手順2



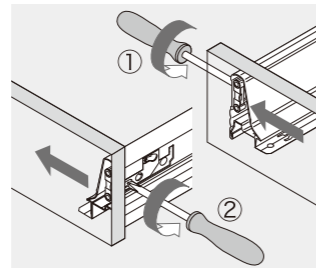
Ⓑのネジを回して前板を外してください。

### 引出し前板の調整方法

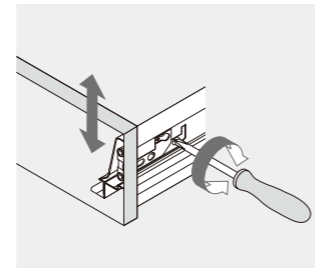
#### 左右調整



両サイドのサイドキャップを外し、Ⓐのネジをプラスドライバーで左右に回すことで左右1.0mmずつ調整することができます。



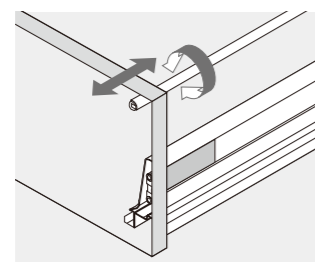
#### 上下調整



両サイドのサイドキャップを外し、Ⓒのネジをプラスドライバーで左右に回すことで上下2.0mmずつ調整することができます。

### 傾き調整方法

ギャラリバーのある引出しのみ



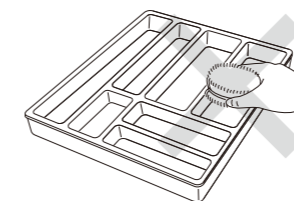
ギャラリバーを回すことで傾きの調整をすることができます。

### トレイ

**樹脂タイプ:** 耐熱温度は最大60°Cです。樹脂製ですので、タワシなどを使用しますと表面を傷めますので使用しないでください。汚れは、台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞り拭き取ってください。

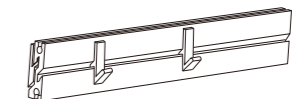
**ステンレスタイプ:** 汚れは台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞り、拭き取ってください。またキャリಂಗトレイは食器洗い乾燥機で洗うことができます。

**木製タイプ:** 汚れは台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞り、拭き取ってください。



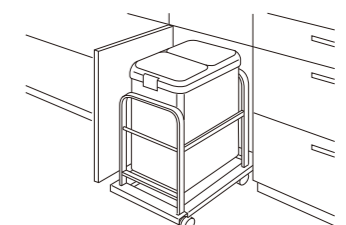
### ハンギングレールシステム

ラック・フック等の制限重量は各5kg(ベースレール全体で15kg)制限重量を超えて使用しないでください。また、壊れやすいもの不安定なものなどは、掛けたり乗せたりしないでください。



### ダストボックス

生ゴミなどを長時間放置しますと、不衛生で悪臭の原因となりますので、こまめに処理をし、掃除を怠らないように心掛けてください。日常のお手入れは、台所用洗剤を含ませた柔らかい布またはスポンジで洗い、よく乾燥させてください。蓋は固く絞った布で拭いてください。金属ブラシや漂白剤、クレンザー、シンナー、ベンジンなどは、絶対に使用しないでください。また、耐熱温度は最大120°Cです。



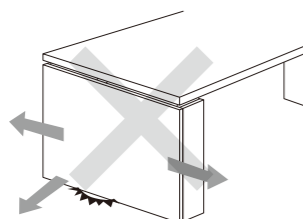


# ダイニングテーブル

## 警告

⊘ コンセント付のダイニングテーブルは設置場所から移動しないでください。

無理に移動すると電気配線が傷つき火災の原因となります。設置位置の変更をご希望される場合は販売店にご相談ください。



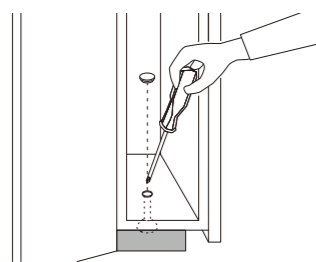
テーブル据付時に高さの調整を行っていますが、使用中にガタついてきたり、傾いてきたときには、アジャスター(4ヶ所)で調整してください。

### 高さの調整方法

テーブルの水平を合わせるためには、一番高い位置を基準として高さの調整を行います。以下の手順に従い、調整してください。

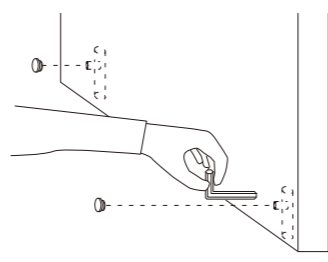
#### キャビネット脚側

マイナスドライバーのように先の平らなものを利用し、キャップをはずし、プラスドライバー(2番ビット)でアジャスターを回して調整します。上から見て時計回りに回すと、高さが上がります。元に戻す場合は、反時計回りに回すと高さが下がります。最後に、取りはずしたキャップを元に戻します。



#### パネル脚側

マイナスドライバーのように先の平らなものを利用し、キャップをはずし、レンチでアジャスターを回して調整します。正面から見て時計回りに回すと、高さが上がります。元に戻す場合は、反時計回りに回すと高さが下がります。最後に、取りはずしたキャップを元に戻します。



memo

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

製品の改良のため予告なく変更する場合があります。  
この「取扱説明書」に記載している内容は、すべて弊社規格品をもとに想定した内容です。  
特注加工品(規定外商品)はこの中に含まれません。